

君の名は～Next Story～by ステージAPJ

ステージ APJ のつくり上げる演劇「君の名は～Next Story～」。これは二年前、あの夏に日本中が恋をしたアニメーション映画「君の名は。」の続編。



STORY

星が降ったあの日、出会うことのない二人の出逢いが運命を変えたあの日。
そして、二人が最後に入れ替わったあの日から、時は過ぎ去った。
都会に暮らす三葉と瀧。
決して出逢えなかったはずの二人は今、同じ町に暮らしていた。
再び出逢うことはなく…。

そんなある日、ついに出会った三葉と瀧。
お互いを意識するものの何も起きずに二人はすれ違う。

そして、二人は入れ替わる。
同じ町で、同じ時を、別の人間として過ごす二人。
そんなことが何度も繰り返されていく。
二人は友人の言葉を軸に思い出していく。
自分が昔も同じことを経験していたことを。

そして、二人は出逢う。
花火が花開く前、黄昏時に、出逢うことのない運命を超えて……。



◀都会での生活を続ける瀧。
藤井司，奥寺ミキとの付き合いも
変わらない。
▼都会へ越してきた三葉。
勅使河原克彦，名取早耶香も
共に都会へ！



▲再び入れ替わる瀧と三葉。昔のことを覚えていない二人は混乱する。
けれど，二人とも入れ替わった相手を演じて司や早耶香たちをやり過ごす…。



▶都会では路上でダンス
をする人も！踊るダンス
は話題のダンス!!

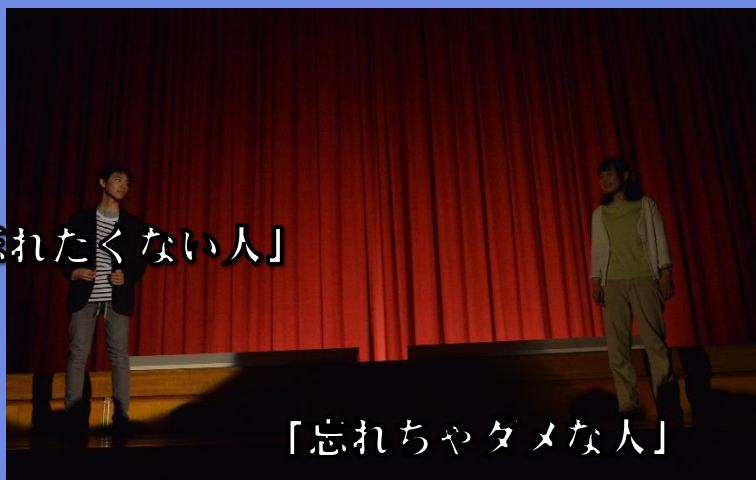


▲◀司と奥寺先輩，勅使河原と早耶香のラブも！
手をつないだり，押しとばされた早耶香を勅使河原が
受け止めたり…。

▶劇には裏方も大切。スポットが壇上の役者
を輝かせます。単純に見えるけど，実は練習
を重ねています。



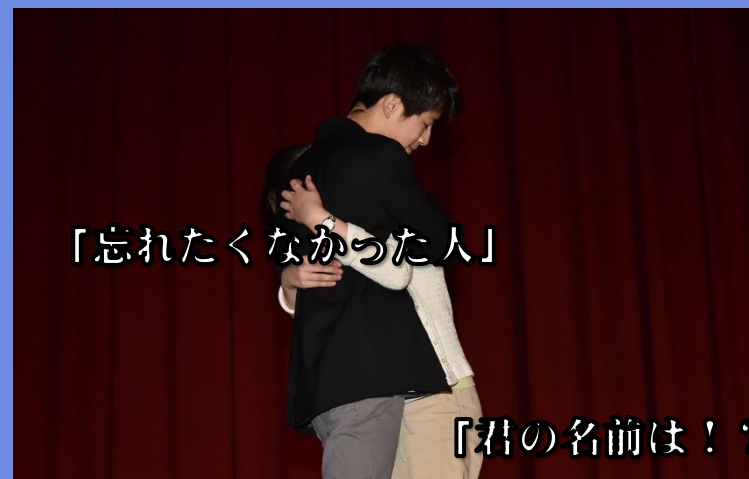
いつか出逢った君を，探している。



「忘れたくない人」

「忘れちゃダメな人」

「 瀧！ 」



「忘れたくなかった人」

「君の名前は！？」

「 三葉！ 」

「 好きだ！！ 」

感動のクライマックス。

再会を果たした瀧と三葉は固く抱き合う。

PJ長へインタビュー！

— 感想を

演技が心配だったけど、本番、素晴らしい出来になって良かった。

— 嬉しかったことは？

最後の抱き合うシーンで「キャー！」という声をきけたこと。

— 来年頑張る後輩に一言！

私も一緒にやりたい！

ステージ APJ の魅力は笑いあり、「胸キュンありの青春コメディ」。今年は主役以外のキャラクターのラブコメシーンも多く、胸キュンポイントが沢山でした。最後の瀧と三葉が抱き合うシーンでは女子の座席周辺から大きな「キャー!!」の声。やはりステージ APJ のクライマックスシーンはドキドキします。原作である「君の名は。」の設定を忠実に再現したストーリーも見物でした。キャラクターの名前、性格、人間関係はもちろんのこと、音楽やセリフなども原作にもとづいたものです。監督、脚本、役者それぞれの演技に対するこだわりが伝わってきました。また、劇を支える裏方の活躍も見物でした。本院の姿が直接、観客に見える訳ではないけれど、背景などの大道具や弁当の中身といった小道具まで熱心につくりまします。PJ 長は裏方が作る小道具はとてモリアルだと言っていました。

ステージ APJ の演劇にドキドキしない年はありません。けれど、今年はこれまで以上のラブコメのレベルの高さやラブコメ以外の細かいところのレベルの高さが際立っていました。三年生である PJ 長は来年も出たいといっていますが、それは叶いません。けれど、今年の頑張りは受け継がれ、来年もきっと夢の景色のように美しいものが見られる演劇になるのではないのでしょうか。